

施策番号 4-1-3	施策名 防犯対策と交通安全の推進	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり		
		政策名	安全・安心に暮らせる生活環境づくり		
	主管課	環境土木課	課長名	橋本 直樹	内線 428
	施策関係課				

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
地域が一体となった防犯体制・交通事故防止に向けた取組をすすめます。		町民、町内会	・犯罪事故発生の抑制 ・交通事故の未然防止				町民の日常生活の安全・安心が確保される	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2022年度目標
① 芽室町は防犯対策が十分であると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	64.2	67.4	66.7	69.7	80.0%以上
② 日頃、交通ルールを守っていると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	96.3	96.8	97.9	97.3	80.0%以上
③								
④								
成果指標設定の考え方	①策定時は未実施であったが、毎年段階的に引き上げ、目標値を目指すもの。 ②策定時は未実施であったが、80.0%以上を維持することを目標に設定したもの。							

## 2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算	2022年度決算
施策事業費(千円)	16,500	15,911	15,037	15,310	14,913
人工数(業務量)	1.0261	1.0250	0.9743	0.6695	0.8423

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2022年度の成果評価(前年度との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①は策定時は未実施のため評価はできないが、前年比較では向上している(特段理由なし)。②は定期的な交通安全運動などの実施により、交通ルールを守っている町民が多いことから、目標値を維持している。
②第5期総合計画前期実施計画の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	①関係機関との継続的な連携により、目標達成は可能と考えたが、目標値までの乖離が大きかった。 ②関係機関との継続的な連携によるものである(目標値は達成)。
(2) 施策の成果評価に対する第5期総合計画前期実施計画の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	交通安全対策事業 防犯対策事業 少年補導員会運営事業 子どもの安全・安心確保対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通安全対策 →交通安全関連団体などと連携し、交通安全啓発を実施した。</li> <li>●防犯対策 →防犯協会において、巡視活動を通じて、町民の防犯の意識啓発を図った。</li> <li>●子どもの安全・安心確保対策 →専任交通指導員を配置し、登下校時における児童・生徒の安全確保を図った。</li> </ul>		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)							
担当課 評価	関係機関との継続的な連携により、維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○

A: 実現した      B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した      C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した  
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した      E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

#### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯および交通安全の対策について求められている。</li> </ul> <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故発生件数は減少傾向にあるが、高齢者の交通事故件数は増加傾向にある。</li> <li>・高齢者を狙った特殊詐欺が増加傾向にある。</li> <li>・管内では自宅車庫での車上荒らしが多発している。</li> </ul>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号機や警戒標識の新設要望が多く寄せられている。</li> <li>・町内会などを活用して被害防止してほしい。→町内会、防犯協会と連携し、地域防犯診断や啓発活動を行った。</li> <li>・警察の巡視活動を強化してもらいたい。→警察との連携を継続し、必要な事案が発生した場合は、巡視活動を依頼する。</li> </ul>

#### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たにに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者の交通事故防止(交通安全対策事業) 高齢者が当事者となる交通事故が多発している状況であることから、啓発活動を中心とした交通安全対策を講じる。</li> <li>●高齢者の犯罪被害防止(防犯対策事業) 高齢者を対象とした特殊詐欺が増加傾向にあることから、詐欺被害防止の啓発を行い、さまざまな犯罪の未然防止を図る。</li> <li>●子どもの交通事故防止(子どもの安全・安心確保対策事業) 専任交通指導員の配置の効果は大きいので、今後においても関係機関と連携しながら、登下校時の児童・生徒の安全確保に努める。</li> </ul>
---

#### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に「維持した」と評価する。		A	B	C	D	E	
		進捗結果					○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した						

#### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標②は目標に到達しているが、成果指標①が目標に届いていない。事務事業全体の振り返り、取組内容から庁内評価と同様に「維持した」と評価する。		A	B	C	D	E	
		進捗結果					○	
今後の取組に対する意見	成果指標①の自由記述の中で、「街灯が足りない」という意見があり、足りていないとは思わないので、町民に理解してもらうような取組を行ってほしい。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した						